



第67号

# ぽっかぽか

函南病院新設部




また、新しい年度を迎えることになりました。最近の国民の関心事といえばやはり物価と収入のバランスでしょうか。日本は失われた30年という言葉で象徴されるように、日本の国際的な経済的地位はこの間低下を続けGDPは世界第2位から4位となり、国民一人当たりの名目GDPは52位(2025)と韓国にも抜かれる状況となっています。こうした比較はドルベースでなされるため現在のような円安状況では数値が大きく低下してしまうことも影響しています。いずれにしても日本人の収入が国際的には目減り傾向にあったことは事実です。一方で国内の物価はデフレ傾向であったことを反映してきわめて安定した水準にありました。ただこうした状況は物事をどちらから見るかで大きく変わってきます。スイスではすし屋などのアルバイトでも月収40万円という話は数年前に聞いたことがあります。

すし、オーストラリア等にバイトに出かける若者が増加しているといった話もあります。東南アジアから日本に出稼ぎに来て国に送金することで家を建てたといった話と同じです。ただバイトでも月40万の収入があるということはそれだけ生活費が高いということと表裏一体でもあります。最近日本に来る観光客が増加しインバウンド収入が増加している大きな理由は円安によって日本への観光が相対的に安くなったことです。昨年ほぼ30年ぶりに行ったハワイでは出発前に食べた生ガキのせいで体調が悪かったという特殊事情もありましたが、朝食にチップを含めると二人で1万円近い出費となる状況には昔のハワイのような楽園感はありませんでした。1字違いのベトナムのハノイでは、円安の今でも朝食は数百円のレベルです。

日本でも最近では初任給が30万を超える企業も出て来ていますが、物価もアメリカのようになることは避けてもらいたいと願うばかりです。我々医療機関は公定の医療費の上に成り立っていますから、最後に調整的な上昇はあるかもしれませんが、先頭を切って医療費上げなどということはあり得ない状況に置かれています。少子高齢化による人口減少、昨今の賃上げトレンド、東京オリンピック・関西万博後も高騰が止まらない建築費、さらには中東紛争と三重苦のような日本の医療環境の中どうすれば活路を見出すことができるでしょうか。

しかし、このような状況の中でも、昨年度、当院が上向きの成果を挙げる事ができたのは、職員の皆さん一人一人の努力の積み重ねがあったからこそです。すべての職種がそれぞれの立場で責任を果たし、患者さんに寄り添いながら日々の業務に取り組んでくれた努力の総集による結果であったと思います。厳し



新年度も職員の皆さんとともに知恵を出し合い、  
着実な前進となる一年に

理事長 久直史

い状況の中でも前向きに仕事に向き合い、病院を支えてくださったことに、心より感謝します。

昨年度も様々な新しい取り組みがスタートしました。高知メディカルアライアンスへの参加といったことも新しい取り組みの一つです。この4月からは整形外科手術が新たなスタートを切りました。ですが、何か一つの取り組みだけで全体の改善が図られるわけではありません。

当院はこれまで、「楽しく働ける職場づくり」を病院理念の大切な柱として掲げてきました。医療は人が支える仕事であり、職員が疲弊しては、質の高い医療を継続して提供することはできません。互いに助け合い、安心して働ける環境をつくるのが、結果として患者さんへのより良い医療につながるかと考えています。今年度も、高野院長のリーダーシップの下、風通しの良い職場づくりと働きがいを感じられる環境づくりに力を注いでゆく所存です。

良い医療を実現し続けるためには、健全な病院経営が不可欠

です。経営の安定なくして、医療機器の整備、人材の確保・育成、地域医療への貢献を継続することはできません。医療の質と経営は決して別のものではなく、両立してこそ持続可能な病院運営を実現することができません。現実の目標としては、ここ数年お話をしている新たな時代に向けてのハード面での整備が最大の課題です。三重苦のよる医療環境の中、社会的なハードルはかなり高い現実がありますが、職員の皆さんとともに知恵を出し合い、着実な前進となる一年にしたいと思っております。そして、地域の財産となる病院に向けて力を合わせて頑張っていきたいと思います。



**濱田さんちのむぎ**  
Uchinoko Jiman

名前: むぎ  
性別: 男の子  
(ネザーランドドワーフ)

**祝 1歳!**

我が家に来てから、毎日元気いっぱい成長中。階段をのぼってお部屋をおさんぽするのが大好きなヤンチャくんです。“なでなで”されるとごきげんで、よく食べてすくすく育っています。今ではすっかり我が家の中心的存在です。これからも元気いっぱいのむぎでいてね。

土佐清風園  
医療連携

特別養護老人ホームとの連携で支える地域医療

法人経営管理部長 明神 聡

― 函南病院の取り組み ―

高知県は全国でも突出して高齢化が進む地域で、2024年時点で高齢化率は約37%と全国平均を大きく上回り、2050年には45・6%に達し、おおよそ2人に1人が高齢者になると見込まれています。特に中山間地域では50〜60%台という極めて高い水準にあり、人口減少とあわせて深刻な地域課題となっています。

高知市においても、2024年時点で31・1%となっており、市民の約3人に1人が65歳以上の高齢者です。

このように地域の高齢化が進むなか、医療機関と介護施設が協力し合うことは、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために欠かせません。函南病院では、特別養護老人ホーム土佐清



風園と協力医療機関として令和6年9月から医療連携を開始し、外来及び入院の受け入れに加え、令和8年2月からは嘱託医（配置医師）の役割も加わり、より連携を強化し、入居者の皆さまの健康を継続的に支える体制づくりに取り組んでいます。

● 定期的な往診で健康を見守る

当院の医師が特養を週1回訪問し、診察や健康チェックを行っています。

慢性疾患の管理や服薬調整、必要な検査の指示など、日常の健康管理を丁寧にサポートしています。施設の看護師と密に情報を共有することで、体調の変化を早期に把握し、適切な対応につなげています。

● 急変時の迅速な受け入れ

特養で急な体調変化があった際には、救急病院としての強みを活かし、当院が速やかに受け入れられるよう、24時間の連絡体制を整えています。

救急搬送時には事前に情報を共有し、スムーズな受診につなげることで、入居者の不安を最小限に抑えています。

● 入院から退院後まで

切れ目のない支援

入居者が入院された場合には、特養と連携しながら治療方針や経過を共有し、ご家族への説明も丁寧に行っています。退院後は、施設での生活がスムーズに再開できるよう、必要な医療やリハビリを行い、安心して戻れる環境づくりをサポートしていきます。

● これからも、地域と

ともに歩む病院として

函南病院は、地域の高齢者及び支えるご家族が安心して暮らし続けられるよう、特養をはじめとした介護施設との連携を今後もさらに深めていきます。医療と介護が手を取り合うことで、





地域全体の支援力が高まり、より豊かで生き生きとした暮らしにつながると思っています。  
これからも、地域の皆さま、そして職員に選ばれ、地域になくてはならない病院として存在できる様に、病院運営に取り組んでまいります。

## 障害者病棟での 取り組みと学び

西2階 看護師

室津佐和子、有田里美



私たち障害者病棟では、筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者さんの生活を支える看護に日々取り組んでいます。

ALSは、徐々に身体機能が低下し、最終的には自分の意思で身体を動かすことが難しくなる難病です。入院される患者さんは、ベッド上での生活が中心となり、日常生活の多くで看護師や介助者のサポートを受けながら過ごすこととなります。

当院に入院されているAさんとの関わりを通して、私たちは患者さんの思いを理解することの重要性を改めて学びました。入院当初は歩行器で病棟内を移動でき、口の動きやスマートフォンでコミュニケーションが可能でした。しかし、現在は24時間人工呼吸

器管理下で生活されており、意思の伝達はアイコンタクトや補助機器を用いて行っています。病状の進行に伴い、介助量は増え、ナースコールも頻回となりました。

ALS患者さんにとって、ナースコールは身体の制限がある中で自分の意思を伝える大切な手段です。私たちは「ナースコールは命の次に大事なモノ」と考え、迅速かつ丁寧に対応するよう努めています。また、ALS特有の非運動症状である痛みや睡眠困難、情報制止困難などを理解することで、患者さんの行動の背景を知り、より寄り添った看護ができるようになりました。

私たちの取り組みは、患者さんの意思やこだわりを尊重し、日常生活の中で最大限の自立を支援することです。介助の際は、ルーティンやこだわりを確認し、本人が納得できる方法で支援します。また、患者さんの情報や対応方針はチームで共有し、カンファ



レンスを通して共通認識を持つことで、統一した質の高いケアを提供しています。  
このような取り組みを通して、私たちは患者さんの心に寄り添い、安心して生活できる環境をつくることを目指しています。ALS患者さんとの関わりは看護師にとって学びの多い経験であり、障害者病棟ならではのきめ細やかな支援を実践する貴重な機会となっています。今後もチームで協力しながら、一人ひとりの患者さんに最適なケアを提供していきます。

部署紹介

臨床工学課の業務を紹介します

臨床工学課 門田博之

臨床工学技士とは、1987年5月に制定された「臨床工学技士法」に基づく医学と工学の両面を兼ね備えた医療の国家資格です。

医師の指示の下に、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行う事を業とし、医師や看護師、その他コメディカルと共に治療をサポートしています。当院は、現在1名の臨床工学技士が在籍しています。主に血液浄化療法のCART

(腹水濾過濃縮再静注法)と人工呼吸器の管理及びME機器の管理業務を行っております。CARTの件数は年間1000件を超えることもあり高知県内で一番の件数を実施しております。治療後に患者さんから「楽になった。」「美味しく食事ができて良かった。」「などの喜びの声を聴くたびに、この仕事を誇りに思っております。関南病院といえはCARTと言われることを目標に日々精進しています。

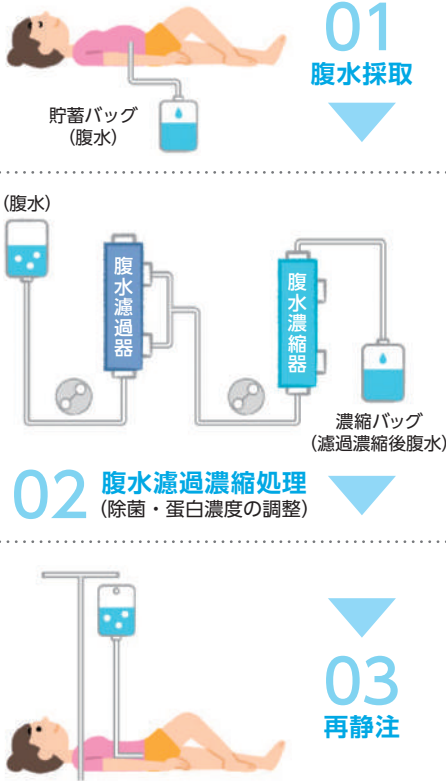
人工呼吸器は、年平均で7人の患者さんに装着しております。最近では、人工呼吸器を装着した状態で15〜20分入浴をしていたいただいております。患者さんの「ありがたい、すっきりした。」との感想を頂き、今後も新しいことにチャレンジしていこうと考えています。

ME機器管理業務としては、輸液ポンプ・シリンジポンプ・小型シリンジポンプ・除細動装置等の日常点検や手術室の麻酔器・モニター・電気メス等の点検等も行い、常に医療機器が使用したいときに正しく使用できるように準備しております。

又、日進月歩で進化していく医療機器を正確に使っていただくように情報収集し、他スタッフに勉強会を実施し情報提供をしております。

直接患者さんに触れることのない部署ですが、裏方として日々頑張っております。

腹水濾過濃縮再静注法 (CART) 治療イメージ



TONAN HOSPITAL INFORMATION  
**函南病院 インフォメーション**  
**外来診察日程** (R8年4月~)

内科						
	月	火	水	木	金	土
午前	吉岡 沖	上田	小笠原 荒川(第2,4週)	上田	上田 越智	沖 (第1,3週)
午後	上田	沖	吉岡	沖 水田	吉岡	

放射線科						
	月	火	水	木	金	土
午前	久(直)	久(直)	久(直)	久(直)	久(直)	
午後						

整形外科						
	月	火	水	木	金	土
午前	藤田	溝渕	吉本	(手術)	吉本	
午後	吉本	藤田		(手術)	藤田	

麻酔科(ペインクリニック)						
	月	火	水	木	金	土
午前						
午後					神原 (心療ペイン)	

外科						
	月	火	水	木	金	土
午前	高野	久(晃)	久(晃)	小河	高野	担当医
午後	担当医 (高野or久(晃))	小河	高野	久(晃)	小河	

内視鏡検査						
	月	火	水	木	金	土
午前	久(晃)	横田/吉岡	小笠原	久(晃)	越智	
午後		横田/吉岡			久(晃)	

創傷ケアセンター						
	月	火	水	木	金	土
午前						
午後		津野(巻爪)		久(晃) 津野		

緩和ケア内科						
	月	火	水	木	金	土
午前	神原		神原	高野		
午後	神原		神原 小河		神原	

- ◆内科・整形外科・創傷ケア・緩和ケア内科・麻酔科(ペインクリニック)は予約制です。電話予約もお受け致します。
- ◆ご予約に関するお電話での受付時間は、午前は8:30~12:00、午後は1:30~5:00となります。(12:30~1:30は予約の変更等の受付はできません)
- ◆初診の方は、問診や検査等に時間を要しますので、午前は11:00まで、午後は3:00までにご来院くださいますようお願い致します。
- ◆水曜日の外科外来は、手術のため変更になる場合があります。
- ◆土曜日の担当医は、毎週変わります。詳しくはホームページの土曜日診療日程表をご確認ください。



◀ホームページ  
(外来診療日程)  
はコチラから

診察時間		
	午前	午後
平日	8時30分~12時	1時30分~4時30分
土曜	8時30分~12時	休診
日曜 祭日	休診 但し、急患は随時受け付けます。	

**緩和ケア**

がん患者さんの、心と体の苦痛を緩和するための治療に取り組んでいます。緩和ケア外来、訪問診療、緩和ケア病棟、訪問看護ステーションにて支援いたします。まずはお電話にてご相談ください。

**各種健診**

自治体の各種健診を実施しています。特定健診、高知市大腸がん検診および大腸精密検査、市町村胃内視鏡検診、高知市肝炎ウイルス検査、高知県風しん抗体検査をお受けしています。

**創傷ケアセンター**

糖尿病性足潰瘍、血行障害や骨の変形が原因で起こる潰瘍など、慢性創傷に対して専門的訓練を受けた医師が治療を行います。予約制での診療となっております。



**人間ドック**

当院では、日帰り人間ドックとして、がんドック、脳ドック、その他オーダーメイドコースをご用意しています。皆様の健康管理にぜひご利用ください。



**発行**  
 特定医療法人久会 函南病院  
 〒781-0806 高知市知寄町1丁目5-15  
 TEL 088-882-3126

**編集** 函南病院新聞部 編集長 高野 篤